

別記

様式第一（第一条の三、第十条、第十六条の六関係）

借地権申告書

令和 年 月 日

借地権者	住所	
	氏名	
借地権を有する者から更に借地権の設定を受けた場合にはあつては、その設定者	住所	
	氏名	
土地所有者	住所	
	氏名	

荒川区長 西川太一郎 殿

次表の土地について下記の借地権を有することを申告します。

令和 年 月 日 登記簿登記事項			
所在及び地番	地目	地積	所在者の住所及び氏名
		m <sup>2</sup>	

記

- 1 借地権の種類 \_\_\_\_\_
- 2 借地権の内容
- イ 目的となっている宅地の面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>
- ロ 存続期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日から \_\_\_\_\_ 年 月 日まで
- ハ 地代 \_\_\_\_\_

（裏面もご確認ください）

(裏面)

備考

- 1 土地所有者(借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者及びその土地所有者)が連署せず、借地権を証する書面を添えて申告する場合には、「土地所有者」(借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、「借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者」及び「土地所有者」)欄は、記載しないこと。
- 2 土地所有者から借地権の設定を受けた場合にあつては、「借地権を有する者からさらに借地権の設定を受けた場合にあつては、その設定者」欄は、記載しないこと。
- 3 法人の場合においては、「住所」欄にはその法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄にはその法人の名称を、「所有者の住所及び氏名」欄には土地所有者である法人の主たる事務所の所在地及び名称を記載すること。
- 4 施行地区となるべき区域内の特定仮換地に対応する従前の宅地に存する借地権を申告するときは、「所在及び地番」欄には当該借地権の存する宅地についての特定仮換地の番号及び特定仮換地が指定されている旨を、「地積」欄には当該借地権の存する宅地についての特定仮換地の地積を、「目的となっている宅地の面積」には仮に当該借地権の目的となっている特定仮換地の面積を付記すること。